校長室だより 第16号

校長　瀧　俊彰

新しい年　新しい『志』と『目標』

新しい年を迎えて、誰もが「この一年は良い年となりますように」と思うことでしょう。年末年始にコロナ感染者が増加してきています。コロナ禍により、社会生活、学校生活にいくつかの制約が生じるようになって約三年になりますが、「普通の日常生活」というのが多くの人の願いであるかもしれません。

ところで、皆さんは今年、どんな「志」「目標」を立てたでしょうか。『志』とは「心がある方向を目指すこと」であり『目標』は「目的を達成するために設けた具体的な手段」であります。世の中の状況や身の回りの出来事は、自分の力ではどうにもならないことも多くあります。しかし、自分自身の心の持ち方に左右される面も大きいこともあります。直面する困難な状況は変わらなかったとしても心の持ち方ひとつで、その状況の受け止め方も今後の自分の行動も変えていける可能性があるからです。

年の初めに当たってまずは自分自身の心の目指すところである『志』を見つめ直し、具体的な手段である『目標』を設定してください。

時代や社会の状況が変わっても変わらない大切なこともたくさんあります。その一つがそれぞれの学年の三学期の大切さであります。

三年生にとっては進路を決定する時となります。入学試験という大きな難関があります。今まで先輩が通ってきた道で避けて通ることができません。体調管理に気をつけて、ゆったりと確実に一歩ずつ学習に最大の努力をしてください。また、中学校生活最後の良い思い出を作り、立派な卒業式にしてほしいものです。

二年生については四月から最上級生として光陽中学校の中心として活躍するための準備の期間となります。今まで中堅学年として頑張ってくれたことは大いに評価しています。三年生への自覚と責任を高めるとともに、さらにいろいろな力をつけてください。

一年生については四月には後輩が入学してきます。上級生から中学校生活、勉強面、生徒会、部活動等についていろいろ教えてもらったことと思います。新入生の不安を少しでも解消できるような二年生になってください。そのための準備が三学期です。

『一月行く、二月逃げる、三月去る』という言葉があります。三学期の時間の過ぎていくのがとても早く、あっという間に四月を迎えるたとえです。それぞれの新年の新しい目標を達成するために、時間に流されることなくひたむきに充実した日々を送ってください。同時に学校・家庭でも今まで以上にコロナ感染予防に努めてください。

令和　５　年　１　月　１０　日　岸和田市立光陽中学校